

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL.178

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム](#)

長島：温州みかんの発祥地

－ 鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ(イギリス出身)

[2 知事の動き](#)

在ドミニカ共和国日本国大使が訪問されました(5月11日)

[3 かごしまの国際交流](#)

県費留学生が来鹿しました

[4 かごしまの出来事](#)

シエラトン鹿児島がオープンしました

## 国際交流員のコラム

### ●長島：温州みかんの発祥地●

ー 鹿児島県国際交流員 スノーデン・ジョセフ(イギリス出身)

イギリスで育った人として、私は非常に甘くて、おいしい「Satsuma(サツマ)」と呼ばれる温州みかんを食べることを懐かしく思い出します。当時は名前の由来がわかりませんでした。鹿児島に来てから、鹿児島県の前身であるあの薩摩が由来であることを初めて知りました。ご想像のとおり、私が温州みかんの発祥地である長島を視察しに行くと聞いた時、ワクワクしました。

長島は鹿児島県の西北部に位置している島でありながら、本土に道路でつながっているため、鹿児島市からは車で2時間もかかりません。長島にたどり着き、私はすぐに長島の澄み切った空気に気づきました。長島は鹿児島県の他の場所と同じく自然にあふれており、私はただそこに立ち止まり、清浄な空気を取り入れることで爽やかな気持ちになりました。

長島の古風で親しみやすい雰囲気にも驚きました。特に、ある道の駅の店員さんから暖かい歓迎を受けました。長島の道の駅にはあらゆる形や大きさの新鮮な柑橘類があり、すべて手頃な価格で販売されているので、本当に見逃せません！

北へ向かって、私は最初の目的地まで進み続けました。日本マンダリンセンターは1993年に、みかん栽培の歴史や文化について学べる施設として開かれました。町の中心からは離れた場所にありますが、小道を辿っていくとオレンジ色の巨大なドーム型の屋根が見えてきます。間違いなく、日本マンダリンセンターです！



<日本マンダリンセンターを飾るオレンジ色のドーム型の屋根>

2022年4月に日本マンダリンセンターの指定管理者に指定された山上さんが迎えに来てくれました。山上さんによりますと近年来場者数が低迷していますが、日本マンダリンセンターへの関心を喚起し、いろんな人に施設の魅力を知ってもらうことを目標としています。



<小さな電球で光るレトロな世界地図>

取り組みの一環として、10月から12月上旬まで新しく行われているみかん狩りは人気を誇ります。お客さんは日本マンダリンセンターを囲む温州みかん園を楽しみながら、自分の手でみかんを収穫することができます。これ以上の新鮮さはないでしょう。

施設に入るとまるで別世界のような空間が私を待っていました。ブラウン管のテレビ、小さな電球で光るレトロな世界地図など、1993年にオープンした頃からほとんど何も変わっていないため、博物館はめ

つたに見られない、魅力的な古き良き雰囲気醸し出しています。なお、展示内容はみかん栽培の歴史、みかんの様々な品種、みかんの収穫や加工など、多岐にわたります。

博物館のレトロな雰囲気は、施設の入り口に設置してあるみかん型のロボットの「マンダリンちゃん」によって具体化されています。スイッチ一つでマンダリンちゃんの顔が上昇し、中に隠れていたフルーツや野菜型のロボットが現れます。そして、この人形はロボットらしく、ぎこちない(あと、私にとって非常に懐かしい)動きで踊ってくれます。子供たちに大人気でありながら、このような使用中のアニマトロニクスは結構珍しいですし、80・90年代のポップカルチャーが好きな人にとって見逃せません！



<マンダリンちゃん>



<温州みかん2代目の古木>

個人的には、樹齢100年を超える温州みかん2代目の古木が展示されている2階展示室が特に印象的でした。木の隣には数十年前に手書きで作成されたみかん栽培日誌を含む、情報の宝庫があります。

専門的な知識が全くない私でも、その本を読みふけりたいです…

博物館のレトロな雰囲気とは違い、上層階は近代的でオシャレなコワーキングスペースに転換されており、地元の学生向けの塾として使える空間もあります。温州みかん園を一望する魅力的な部屋で、これ以上はないほど、最高のワーケーション先です。山上さんは日本マンダリンセンターが柑橘類生産者や研究者の国際的なコミュニティ、そして様々な業界で活躍している人々の交流拠点であってほしいと説明してくれました。

過去に柑橘類を世界に広げてくれた大事な場所の一つでもある長島は、その歴史を踏まえて、今日も世界に向けて重要な役割を果たしています。



<コワーキングスペースからの眺め>

温州みかん園を通り、日本マンダリンセンターを後にしました。地元料理をどうしても味わってみたかったので、長島大陸市場食堂へと急ぎました。長島大陸市場食堂は海からわずか15メートルしか離れておらず、打ち寄せる波やけたたましく鳴き交わすカモメの音を聞くだけでも、最高に新鮮な料理が提供されているとわかりました。



長島町は日本一のブリ産地だと私は知っており、一番人気なメニュー、「鯨王定食」を選びました。ブリを様々な形で食べられるだけではなく、みかん味のデザートもあったので大満足でした！



<遣唐使船漂着の地の記念碑>

記念碑自体はもちろん印象的で厳かさを帯びていますが、後ろにある質素な小石のビーチも見逃せません。私は波打ち際に立ち止まり、中国の方を向きました。この場所は 778 年のあの日にどんな様子だったか、想像してみました。



<記念碑の後ろにある小石のビーチ>

鹿児島本土へ向かって黒之瀬戸大橋を渡りながら、今回の短期間だけの長島視察を振り返ります。長島の醍醐味は「コントラスト」を感じることです。日本は全国各地に歴史的な重要性を有する場所がありますが、その大部分は著名で壮大です。でも、長島は違います。歴史的に重要な場所でありつつ、謙虚で古風な町です。変わらぬ本格的な雰囲気浸っています。

私は新鮮な温州みかんをかばんから取り出し、手に持ちました。やはりこのみかんは何年も前にイギリスで食べた「Satsuma」よりも甘い味がします。



<黒之瀬戸大橋>

## 知事の動き

### ●在ドミニカ共和国日本国大使が訪問されました(5月11日)●

在ドミニカ共和国日本国大使館の高木大使が県庁を表敬訪問されました。

私から現地の県人会の活動状況などをお尋ねしたところ、高木大使から、鹿児島県人会は同国の日系人コミュニティでは最大であることや、活動内容を写真を交えてご説明いただいたほか、近年新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた海外との経済・人の往来なども回復してきていることなどについてお話いただきました。

本県で実施している同国への海外技術研修員受入事業等を通じ、交流が深まっていくことを期待しています。



## かごしまの国際交流

### ●県費留学生在が来鹿しました●

本県移住者の子弟を県内の大学に留学させ、母県の実態を熟知させるとともに、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成することを目的とする、令和5年度の県費留学生3名(ブラジル2名、ペルー1名)が、4月に来鹿されました。

県費留学生3名は、来年2月までの11か月間鹿児島に滞在し、鹿児島大学で各自の専門分野(法文学部・医学部)を学びます。

今回は、県費留学生の皆さんに留学の意気込みなどを聞いてみました。

佐藤 カロリネ アユミ(ブラジル出身, 日系4世, 法文学部)

鹿児島県で県費留学生としての意気込みは、まずコミュニケーション力を上達しながら、日本人や他の国の方々と交流したいということです。その上、自分の研究にも集中して将来的に大学院生を目指したいと思います。そして、留学期間にやりたいことは、日本人や他の国の友達を増やしたいですし、今まで経験のなかったことをたくさんやってみたいです。例えば、まだ行ってない場所に行きたいですし、まだ食べていない料理も味わいたと思っています。



村上 真奈巳(ブラジル出身, 日系3世, 医学部)

写真は薩摩川内市の甲冑工房丸武で撮影しました。そこで工場や伝統的な日本庭園を訪れ、日本の歴史や工芸について少し学びました。日本のドラマやテレビ映画で使用される伝統的な甲冑や小道具の多くがここで製造されています。

鹿児島県での留学期間中に、日本の医療制度と公衆衛生への取組について学びたいと思っています。また、鹿児島の文化や日本文化についてももっと知りたいです。ブラジルに戻ったら、良い思い出や経験、学んだ教訓を日々の生活に応用できるようになりたいです。



若林 マヨ アンドレア さゆり(ペルー出身, 日系3世, 法文学部)

私の名前は若林 マヨ アンドレア さゆりです。ペルーから来ました。日本に来ることができてとても嬉しいです。

私は日本の文化を学んでいます。さまざまな国から来た友達と知り合って、大学ではたくさん勉強しています。日本でたくさんのことを学び、母国に帰ったら、その知識や日本文化がどのようなものか教えたいと思います。





## かごしまの出来事

### ●シェラトン鹿児島がオープンしました●

5月16日、鹿児島市高麗町に外資系ホテルのシェラトン鹿児島がオープンしました！

新幹線・高速バスなどが発着する JR 鹿児島中央駅、繁華街である天文館、市内と桜島を結ぶ鹿児島港などへのアクセスが良好な鹿児島市の中心部に位置しています。

同ホテルは19階建てで、全228室の客室の他にも、館内にはカフェやレストラン、バー、温泉や宿泊者用のジムなどの様々な施設が整備されています。

館内や室内のデザインは鹿児島の自然美を表現しており、客室の細かなデザインは鹿児島の地形などをモチーフにしています。また、客室名に桜島を入れた部屋タイプからは、鹿児島ならではの壮大な桜島の景観を楽しむことができます。

シェラトン鹿児島は世界中に展開しているマリOTTグループのホテルであり、これから国内外問わず多くの観光客の方が利用するのではと期待が高まります。

住 所:〒890-0051  
鹿児島市高麗町43-15

電 話 番 号:+81-99-821-1111

ホームページ:[シェラトン鹿児島 - 鹿児島 | Marriott Bonvoy](#)







[・ 特用林産物](#)

[・ 水産物](#)

(4) その他鹿児島の情報

[・ 鹿児島インターネット放送局ムーブ！かごしま](#)

[・ 鹿児島県公式フェイスブック一覧](#)

[・ 鹿児島県公式ツイッター一覧](#)

[・ 鹿児島県ホームページ](#)